

平和はあたりまえ？

那覇市立仲井真小学校六年 比嘉 愛梨

いつもの朝

おいしいご飯

楽しい学校

笑い合える友達

注意してくれる先生

大好きなピアノ

楽しい部活

これがあたりまえ

私は約11年間

ずっと知らず知らずのうちにそう思っていた

けどちがう

約78年前、戦争が始まった

ぶたいは沖繩

エメラルド色の海は真っ赤へ染まり

青色の空は真っ黒なやみへ

緑色の大地はばくだんにより穴があく

人々はにげる

ただひたすらにげる

まわりには

バラバラになってしまった体

迷子になっている子供達

かすかに聞こえる赤ちゃんのような声

水をくみに行く人達

死んでしまった家族

銃を放つ米軍

そんななか生き残ってくれた

私達のひいおばあちゃんやひいおじいちゃん

もういない

けど、生き残ってくれたおかげで、今の私がいる

幸せな生活ができています

こんなに深く考えたことはあるだろうか

こんなに幸せな暮らしができるのはあたりまえなの

のだろうか

約78年前は、朝生きて起きれることに毎回感謝し

ていた

今の時代はどうだろう

朝起きるとテレビやスマホを何とも思わずに見る

感謝しない。あたりまえだと思っている

ということではないだろうか

せつかく生き残ってくれた人への感謝はないのだ

ろうか

私はこわい

みんながああ時のつらさ、残酷さ、悲しさを忘れ

てしまうことがこわい

だから伝える

世界中の人に伝える

お願いだからこの幸せな日常をあたりまえだと思

わないでと

あの日のことを忘れないでと

この世に「あたりまえ」という言葉は必要ない

だからこそ、今生きていることに感謝しなければ

ならない

君は今までどうだった

今の君にできることはなんだろう

今の私にできることはなんだろう

今日も私たちは生きている

私達は未来の希望だ

私達の手で平和を守る

まもってみせる